

京安第446号  
令和4年10月6日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について  
(通知)

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

- 1 玄海原子力発電所原子炉施設保安規定の変更について  
〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2022年9月22日付け 立コミ本第159号〕・・・(別添1)
- 2 協定書の覚書に基づく連絡について  
〔佐賀県知事宛て 九州電力㈱代表取締役社長執行役員名  
2022年9月30日付け 立コミ本第164号〕・・・(別添2)

担当 県民環境部 原子力安全対策課 平山  
電話 0952-25-7081  
メール genshiryokuanzentaisaku@pref.saga.lg.jp



立コミ本第159号  
2022年9月22日

佐 賀 県 知 事  
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役 池 辺 和  
社長執行役員



玄海原子力発電所原子炉施設保安規定の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、玄海原子力発電所原子炉施設保安規定につきましては、2022年9月13日  
付けで原子力規制委員会から変更の認可を受け、2022年9月22日付けで施行  
しましたので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、  
別添のとおりご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

立コミ本第164号  
2022年9月30日

佐 賀 県 知 事  
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社  
代表取締役  
社長執行役員 池 辺 和



協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、  
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- |                |         |
|----------------|---------|
| 1. 環境保全測定報告書   | ( 月 報 ) |
| 2. 発 電 実 績     | ( 月 報 ) |
| 3. 核燃料物質の消費状況  | ( 月 報 ) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | ( 月 報 ) |
| 5. 環境放射能の測定結果  | ( 月 報 ) |
| モニタリングポスト      |         |
| 6. 廃止措置の実施状況   | ( 月 報 ) |

以 上

# 環境保全測定報告書

2022 年 8 月分

九州電力株式会社

## 1. 補助ボイラ用重油のいおう分

	玄海 1 ・ 2 号機	玄海 3 ・ 4 号機
重油いおう分 (%)	0.06	0.06

## 2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号機					玄海 3 ・ 4 号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
8月3日	7.5	1.0	—	—	8月3日	7.4	1.6	—	—
8月10日	7.2	0.8	—	—	8月10日	7.3	2.1	—	—
8月17日	7.1	0.7	—	—	8月17日	7.4	1.7	—	—
8月24日	7.4	<0.5	1.2	検出せず	8月26日	7.2	1.1	0.1	検出せず
8月29日	7.4	0.6	—	—	8月31日	7.3	1.7	—	—

\*1 毎週1回以上の測定

\*2 毎月1回以上の測定

## 3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
8月10日	29.7	28.8	検出せず	28.4	29.2	検出せず	28.0	34.9	検出せず
*1 8月19日	28.5	28.6	検出せず	29.2	30.0	検出せず	29.2	35.9	検出せず
8月30日	27.1	27.0	検出せず	27.5	27.1	検出せず	26.4	33.2	検出せず

\*1 20日が休日のため、19日の測定結果を報告

# 発 電 実 績

2022年8月分

九州電力株式会社

号機		※1	※2	3 号 機	4 号 機	発電所合計	
		1 号 機	2 号 機				
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000	
発電日数	日	—	—	0	31	31	
発電時間数	時間	—	—	0	744	744	
電 力 量	発電端	10 <sup>3</sup> kWh	—	—	0	879,463	879,463
	所内消費	10 <sup>3</sup> kWh	1,439	1,469	5,652	35,039	43,599
	送電端	10 <sup>3</sup> kWh	-1,439	-1,469	-5,652	844,424	835,864
最大電力	kW	—	—	0	1,193,000	1,193,000	
平均最大電力	kW	—	—	0	1,186,710	1,186,710	
平均電力	kW	—	—	0	1,182,074	1,182,074	
負荷率	%	—	—	0.0	99.1	99.1	
利用率	%	—	—	0.0	100.2	50.1	

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所1号炉)

2022年 8 月分

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 ( $10^9$ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	プルトニウムの量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	プルトニウムの量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)			
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,075 ( 87)	324	326	0	0	
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,466 ( 113)	384	487	0	0	
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,808 ( 196)	1,944	595	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	151,349 ( 396)	2,653	1,408	0	0	

(注) 2015年4月27日運転終了  
(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2022年

8月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 ( $10^9$ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)	燃焼度 ( $10^3$ kWd/t)	ウランの量 (kg)	235の量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	754	680	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,392	159	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177,659	2,969	1,568	0

(注) 2019年4月9日運転終了  
(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2022年

8月分

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量			月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)		
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	7,828	59	91	0	0
4.10 (MOX)*	0	0	---	75,993 (171)	1,372	672	29,015	0	0	0	0	234,660	2,670	2,636	0	0
4.10	0	0	0	8,210 (20)	12	621	38,243	0	0	0	0	6,569	10	535	0	0
合計	0	0	0	83,721 (193)	1,384	1,293	16,332	0	0	0	0	278,265	2,972	-3,467	0	0

(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。  
\* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下



核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社  
(玄海原子力発電所4号炉)

2022年 8 月分

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末装荷量				炉外取引量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10 <sup>9</sup> kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	燃焼度 (10 <sup>3</sup> kWd/t)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)			プルトニウムの量 (kg)
2.00	0	0	( 1)	453	4	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0	0
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186	286	304	0	0
4.10	0	0	( 138)	60,317	1,008	85,993	2,325	486	16,065	0	0	332,878	3,518	3,803	9,110	111
合計	0	0	( 139)	60,770	1,012	85,993	2,325	486	1,877	0	0	389,829	3,999	4,326	9,110	111

(注) ( ) 内は燃料集合体数を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 8月 分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
放出実績なし	放出実績なし	—	—

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
292 (-151)	38,962

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 8月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 8月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2022年 8月 分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
ND	ND	—	—

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm <sup>3</sup> )	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

# 環境放射能測定結果

( 2022 年 8 月分)

2022 年 9 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2022 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	24	24	16	24	23	23
2	24	23	24	17	40	23	29
3	24	23	24	18	49	24	28
4	24	23	24	19	25	23	24
5	24	23	24	20	25	23	24
6	26	23	24	21	51	24	27
7	31	23	24	22	25	24	24
8	24	23	24	23	26	24	25
9	24	23	24	24	60	24	32
10	24	23	24	25	25	24	24
11	24	23	24	26	25	24	24
12	36	24	28	27	25	24	24
13	25	23	24	28	25	24	25
14	24	23	24	29	25	24	25
15	24	23	24	30	25	25	25
				31	25	24	24

# 空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2022 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	22	21	22	16	22	21	21
2	22	21	22	17	37	21	27
3	22	21	22	18	43	22	25
4	22	21	22	19	23	21	22
5	22	21	22	20	23	21	22
6	23	21	22	21	46	22	24
7	28	21	22	22	23	22	22
8	22	21	22	23	23	22	23
9	22	21	22	24	56	22	29
10	22	21	22	25	22	22	22
11	22	21	22	26	23	22	22
12	31	21	25	27	23	22	22
13	23	21	22	28	23	22	23
14	22	21	21	29	23	23	23
15	22	21	22	30	23	23	23
				31	23	22	22



# 空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2022 年 8 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	23	23	16	23	22	23
2	23	23	23	17	41	22	28
3	23	23	23	18	48	23	27
4	23	23	23	19	24	22	23
5	23	22	23	20	24	22	23
6	25	23	23	21	54	23	26
7	31	22	23	22	24	23	23
8	23	22	23	23	25	23	24
9	23	23	23	24	60	23	31
10	23	22	23	25	24	23	23
11	24	22	23	26	24	23	24
12	35	23	27	27	24	23	24
13	24	23	23	28	24	23	24
14	23	22	23	29	25	24	24
15	23	22	23	30	25	24	24
				31	24	23	24

玄海1号機 廃止措置の実施状況  
(2022年 8月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			2023年度	2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）										
除染準備作業	[進捗バー]										
装置設置	[進捗バー]										
除染	[進捗バー]										
片付け（装置撤去）	[進捗バー]										
(2)汚染状況の調査	[進捗バー]										
線量当量率測定	[進捗バー]										
試料採取	[進捗バー]										
輸送・分析・評価	輸送・分析 [進捗バー] 評価 [進捗バー]										
(3)汚染のない設備の解体撤去	高圧給水加熱器 [進捗バー] 低圧給水加熱器等 [進捗バー] クービン建屋内機器等 [進捗バー] 主給水ポンプ等 [進捗バー] 復水分離加熱器 [進捗バー] 復水ブースタポンプ等 [進捗バー] スチームコンバータ等 [進捗バー] 復水配管装置（中和槽・排水槽排水設備）等 [進捗バー] 給水ブースタポンプ等 [進捗バー]										
(4)使用済燃料搬出	搬出計画検討										
(5)新燃料搬出	輸送容器への収納方法検討・搬出準備										

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染  
終了（2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査  
終了（2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	今月は作業実績なし

【解体撤去物の状況】（注3） （単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	990.7	0	990.7	0
コンクリート類	0	45.7	0	45.7	0
その他	0	99.0	0	99.0	0

(4) 燃料搬出 (注4)  
・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	36
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m <sup>3</sup> )	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	735	0	0	735
均質固化体	0	19	0	0	19
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	716	0	0	716

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2022.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	200.30

3 その他  
・なし

## 記載要領について

## (注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

## (注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

## (注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

## (注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

## (注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

## (注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況  
(2022年 8月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査	[進捗状況]					
線量当量率測定	[進捗状況]					
試料採取	[進捗状況]					
輸送・分析・評価	輸送・分析 評価					
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日） タービン建屋内機器保温材 油計量タンク A,B湿分分離加熱器 等 塵芥搬送装置 等 復水器真空ポンプ スチームコンバータ 等 高圧給水加熱器 等 製品ヤード 脱気器 等					
(3)使用済燃料搬出	搬出計画検討					
(4)新燃料搬出	輸送容器への収納方法 検討・搬出準備					

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2021.7.1～ 2026.3.31（予定）	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○分析 ・2021.7.1～実施中  ○評価 ・2022.3.25～実施中

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31 (予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	タービン建屋内機器保温材撤去工事 ・2021.10.25～実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位：トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0.8	278.2	0.8	278.2	0
コンクリート類	0	4.4	0	4.4	0
その他	4.6	71.4	4.6	71.4	0

(3) 燃料搬出(注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	254
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	168
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	28
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	84
		搬出量(前月末まで)	72
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	12

(4) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂(m <sup>3</sup> )	0	0	0	0	0
固体廃棄物(本)	0	253	0	14	239
均質固化体	0	13	0	0	13
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	240	0	14	226

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1～2022.8.31] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	8.63

3 その他  
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m<sup>3</sup>)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1m<sup>3</sup>】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m<sup>3</sup>)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。